



学校だより

# 「たぶの木」



令和5年 2月  
鹿児島市立武岡台小学校  
児童数253名



## 春はそこまで

校長 榎 まゆみ

立春を過ぎ、だいぶ日が長くなりました。1月末の大雪で寒にさらされた花たちが咲き始め、少しずつそして確実に季節が巡っていると感じます。

2月7日には、6年生が恒例の武岡小学校6年生との交流学习を行いました。4月から武岡中学校で、一緒に生活する仲間だという自覚も新たになったようです。また、15日には本校に入学予定の年長さんの体験入学と保護者の方々への入学説明会。季節の移り変わりと同時に、学校では次年度の準備も始まっています。



さて、2月13日の全校朝会は「今〇ら」の〇にどんな文字をいれるか（「今さら・今から・今なら」）という話をしました。2月も中旬に入り、学校に出てくる日はあとひと月分もありません。そこで、「あと〇日しかない。今さら…」とあきらめ、後ろ向きに思うのか。「あと〇日ある。今からがんばろう」と今からやれることを決意するのか。そして「あと〇日、今ならこれができる。」と行動に移すのか。一文字違うだけで、随分違う考え方になること、武岡台の子供たちには、ぜひ「今から」「今なら」と前向きに動き出してほしい。みなさんの「心」にはどんな「今」がありますか。と話しました。

「今」に「心」で「念」。「念ずれば花開く」の言葉のように、努力を惜しまず、自ら道を開き、夢や目標をかなえてほしいと願います。

1年間のまとめと来年度の準備の時期である2月は「如月」とも言い、衣を更に着重ねるほど寒さが増す時期でもあります。寒さに負けず、子供たちに笑顔の花が咲きますよう、そしてみんなが「この学校で、この学級でよかった。」と晴れ晴れとした気持ちで、心から言える締めくくりとなりますよう、職員一同努めてまいります。

ご支援・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

